

八戸漁港流通構造改革拠点漁港整備事業（青森県）



【現状と課題】

- ・特定第3種八戸漁港を擁する八戸市は、大型・中型・沿岸のいか釣、大中型まき網、遠洋・沖合の底曳網を基幹漁業とし全国上位の水揚げ規模を誇るが、昭和63年の81万トンをピークに減少傾向が続き、近年は15万トン前後で推移している。
- ・魚市場は3カ所に対応しているが、建屋の老朽化も進み、消費者の安全・安心ニーズへの対応が難しくなっており、資源状況や社会情勢変化に対応した流通構造改革が課題になっている。

【計画の方針】

産地市場機能の集約と漁船漁業構造改革と連携して、生産・流通の効率化、品質・衛生管理の高度化を図ることにより、産地の国際競争力の強化を図る。

【計画の内容】

事業期間：H19～H24

事業主体：青森県・八戸市

事業内容

- ・岸壁整備(L=1,094m)
 - ・荷捌所整備(4棟)
 - ・清浄海水導入施設(取水・殺菌・送水施設)
 - ・漁港浄化施設(集水・汚水処理・排出施設)
- 等



A棟 新築整備の断面イメージ

改革型まき網(改革型さんま棒受網)
(生鮮サバ、サンマなど)

